

発行所

石岡市役所

石岡市大字石岡408番地  
電話(代表)(2)4111番  
郵便番号 3 1 5

発行人 大和田 健三郎  
編集 総務部



1969年  
新年号

第166号  
毎月1回  
15日発行  
(定価1部5円)



# 新しい年を迎えて



市長

## 大和田健三郎

あけましておめでとうござ  
います。

極的なご協力により、進展の  
一途をたどってまいりまし  
た。

昭和四十四年のすがすがし  
い新春を市民のみなさまと共  
につつがなく迎えましたこと  
はまことにご同慶にたえませ  
ん。さて、昨年は、内外共に  
多事多難な年でありました。

重点施策としましての、市  
民会館建設、都市開発、道路  
網の整備、学校施設の整備、  
住宅建設、農業構造改善事業  
の推進、消防施設の整備等々  
将来の大石岡市建設の夢と希  
望の第一歩を踏みだすことが  
でき得ましたことは、市民の  
みなさまと共によろこび申  
し上げ、衷心より謝意を表す  
るものであります。

わが国、産業経済界も、世  
界の変動により苦難はありま  
したが、安定した伸展をみる  
ことができ、希望あふれる新  
年を迎えたのであります。

このようにして迎えました  
昭和四十四年の石岡市は、前  
年の整備を土台とし、山積さ  
れた幾多の重点施策を積極的  
に推進し、市民福祉向上のた  
め、明るい住みよい街づくり  
の市政に対するご理解と、積  
進に精進せねばなりません。



議長

## 大山安一

従いまして、市民のみなさ  
ま方のご協力なくしては、解  
決することは、不可能であり  
ます。今年も市政発展のため  
格段のご協力を切にお願い申  
し上げる次第でございます。

おわりに、この明けゆく新  
年が市民のみなさまにとりま  
して、最良の年であると共  
市政にとりまして輝かしい躍  
進の年となることを心から祈  
念いたしまして年頭のご挨拶  
といたします。

石岡市の皆様、あけまして  
おめでとうございます。

昭和四十四年の新春を迎え  
ここに謹んで新年のご挨拶  
を申し上げます。

私は昨年十二月、議長に就  
任し、その榮職を担うことに  
なりましたが、もとより浅学  
非才であります。三十名の  
議員各位の協力により、公正  
無私、明期にして豊かな市民  
生活と明るい市政実現に邁進  
いたします。

昨年市民の皆様のご理解  
あるご協力ご鞭撻により、市  
政も順調に進んでおりますこ  
とは誠に同慶にたえませ  
ん。

早期造成

② 学校施設整備として

◆ 府中小、石岡小の改築、

◆ 幼稚園の設置

③ 保育所の増設

④ 都市計画事業として

◆ 山王川都市下水路工事

◆ 都市計画道の促進

⑤ 農業構造改善事業

◆ 営農改善のための利子補給  
と用地提供者への助成

⑥ 交通安全対策の一環として

◆ 交通安全共済加入等々

⑦ 大石岡市建設計画にのっとり

◆ 着々進んできており、他市に  
くらべ進展をみる事が出来  
たのであります。

これひとえに、市民の皆様

の厚いご理解とご協力のた  
まものであると日ごろから感謝  
いたしております。

その主なものは

① 柏原工業団地の買収促進と

あらためてお礼を申し上げ  
るしだいあります。

しかしながら、市民生活の  
中では、まだまだ、整備、処  
理しなければならぬ諸事業  
が多数あることと思ひますが  
行政全般にわたり、大和田市  
政と円滑な議会運営を図り、  
市民各位のご期待に添うよう  
努力いたす覚悟であります。  
私達議員は、新年を迎えて  
各位と共に、心をあらたにし  
て市政の円滑な運営を図り市  
発展のため十分な努力をつく  
す考えであります。

新年にあたり、所懐の一端  
を申しあげ、皆様の深いご理  
解とご協力をお願い申し上げ  
まして、年頭のご挨拶とい  
たします。

1969

# わたくしの初夢

編集室では、新春にふさわしい一九六九年の初夢をそれぞれの方々にお寄せいただきました。全文を掲載できないものもありますので、よろしくご了承をお願いします。

## 山口 有

(城南中三年)



私の将来の夢は、外交官になることだ。

私は中学生になって、英語の学科が新しく加わったのをさいわいに、一生懸命勉強しようと思ひ、二年生のとき、しょうしょう外交官になろうかなと考へた。そして、ついに三年生になって、政治、経済などを学び、新年を迎えたと同時に、私の歩むべき道はこれだと決心したのである。いまや、時代は急速に進歩しつつある。過去の人類の夢であった月世界旅行も、ソ連を主体として可能にせまってきた。また、みちかなところから考へて、機械・器具の大幅な普及、あるいは、医学界の心臓移植、それに世界を一

つに結ぶ交通機関なども、ますます発達しつつある。

こういう世の中において、私は、どんだん外国に進出すべきではないかと考へる。そして、外国との結びつきを深め、日本をより以上に発展させるべきではないかと考へるのである。そういう点から見

た場合、外交官という職務は実に価値ある職務ではないだろうか。私の夢は、さらにもっと広い意味でいうと、外交官になって日本人の独特な個性を外国人に理解してもらふことだ。そして、結びつきをよりいっそう深めることだ。

しかし、夢を実現させるためには、数知れない難苦をつらぬき過ぎなければならぬ。そのために、私はこれらの生活を充実させようと思ひ心するのだ。道元は、このようなことを、私たちに次のように伝えてゐる。

『いたすらに  
道を求むる時ぞ少なき』  
私は、今、快よい気持ちで正月を迎え、のんびりと楽しく過ごしているわけだが、そ

の反面には、恐ろしい入試という難苦に耐えようと、たえず努力している。

私は、どんな苦しみにもその背後には、必ず喜びがあると信じてゐる。ゆえに私は、

いまここでたえず向上しようと思ふことを誓ひたい。そして毎日毎日、悔いのない生活をし、やがては、私の夢の実現される時期が訪ずれることを望みたいのである。

## 桐生 敏子

(高校生)



また一年、二十一世紀へと近づいた。あと三十余年、私たちがその扉をノックするとき、いったい二十一世紀はどんな顔で私たちを迎えてくれるのだろうか。

二十一世紀は科学の世紀だ。すべてのものが科学の支配下におかれる。いやむしろ人間によって科学が征服される、といふべきだろう。

現在でも米ソ間の月ロケット競争は、米のアポロにソ連のソンドとますます激しくな

るばかり。この分だと、近い将来に必ず月は征服される。二十一世紀、月には餅をつくウサギのかわりに、私たちが住みついて地球上でと同じように生活する。

月、地球間をロボット定期便が飛んで、月の空港に旅行客が降りたつ、修学旅行の行き先も月になるかも知れない。そして火星も、木星もと

全宇宙が人間の行動範囲となる。また、二十一世紀は平和の世紀だ。地球上の戦争は消え、宇宙の開発のために世界の国々は手を結び、仲よく兄弟のように助け合う。

地名だって、日本州石岡なんてなるのかも知れない。世界各国どこにでも自由に行けて、誰とでも自由に話し合える。各国の美しい自然はそのままの形で、一つの所に集められ、いつでもそこに行けば、自然に触れることが出来るようになる。

空間をせばめる交通機関も大きな発達をとげ、学校に歩いて来る学生などは一人もいなくなる。学生も変わる。

角材を捨てて、角帽に掃り平和な学園に、ノート代りのテープを持って登校する。

都合の悪い時は、テープだけ取って置いて、後で聞けばよい。これなら遅刻をしても叱られる心配がなさそうだ。

だ。理数系がすぐく発達するだろうことは少々頭がいたい。が、にがてな計算は計算機にまかせてしまえば。

こんなことを夢見てゐる。少々無責任で、ふざけた夢かも知れないが、考へてる間とても楽しかった。しかし現実には、まだまだ遠い世界。

月ははるか空のかなたで人間を拒み続けているし、世界もベトナムで、まだつめたく戦っている。交通事故もふえる一方、ヘルメットをかぶった人たちも、角材をぎっしりとにぎりしめ、ヘルメットの上には小石が降っている。

私の夢の世界、早くこないものか、待ちどおしいことである。

## 渡辺 信人

(関川小六年)



ぼくたちの住んでゐる関川は、石岡市といつてもはずれの方で、大部分は農家である。ぼくの初夢は、この関川がすばらしい所になったことだ。今までは、この辺にレジ

ヤーにぐるようなことは、狩猟でぐるぐらいたった。だから、霞ヶ浦を利用して、ここをすばらしい観光地にするのである。それは、霞ヶ浦の一部分をかたくして、その上にホテルを建てたのだ。そして土曜日には、石岡の方からきて、ホテルから、船を出して、つりをするのだ。夏には一部にかこいをして、その中水をぎれいにして、そこで水泳をするのだ。また、貸しポート屋をつくって、モーターボートなどを貸したりするのだ。もちろんそれは、関川の人が開くのだ。

また、関川までくるのに、道路が悪いので、道路を広くしてすつとほそうするのだ。それに、てい防も広くして、

自動車が何台も通れるようにする。ほかに、早く来られるようにてい防まで、高浜から直通のハイウェイをつくってマイカー族が通れるようにする。そして、とちゅうに、市営のドリームランドや、子供の国のような、大きな遊園地をつくって、帰りに遊んでいくようにする。ぼくたちも、日曜日には、ときどき友だちと遊びに行くようになるだろう。

そのように、この関川はほとんど変わっていく。ぼくたちの学校も、霞ヶ浦にプール

をつくって、夏休み中に自由にそのプールに行けるようにする。そのほかに、今までの公民館をこわして、りっぱな体育館をつくり、雨の日にはその中で遊ぶ。校庭も広くして、ここは野球をするところ、ここはボートボールをするところ、と決める。すると休み時間に、いろいろな運動をする人が多くなる。そして、低学年用に、ブランコ、すべり台、砂場なども、大きく、楽しく遊べるようにする。そして、各学級に一台ずつテレビをそなえて、放送部でテレビカメラでうつし、それを校内のテレビに放送して、勉強に大いに役だてて、あすの石岡市をになう人になりたい。

### 海老沢とり子

(主婦 四三才)



明治百年の多難だった年もすぎ去り、本年こそは諸物価の値上りのない、私達庶民の生活しやすい、平和で楽しい年でありますように新年を迎えひとしお念じます。主婦は数字に弱いなどといわれます

が私共も、あらゆる機会を利用して勉強して、かしい消費者となり、一家の明るい灯となつて、暖かな家庭を築いてゆきたいと思ひます。交通戦争等という言葉も一日も早く返上、悲しい犠牲者のない住み良い石岡市にしたいと思ひます。運転する人、歩く人各人がルールを守つて、歩いたらば、いまわしい事故等なくなると思つて、一番ルールを守らないのが中年の主婦とか、歩道橋があるのに渡ろうとせず、その下を横断して思わぬ怪我をしたり、子供の手を引いて歩くのに、子供を車道側にして歩いたりちよつとした心がけで悲しい思いをせずすみすみのを、学校給食も中学校はまだ完全給食にならず、成長期の子供のためにも栄養等の点で一日も早く完全給食の行なわれるようにお願いいたします。石岡市には幼児の遊び場等も少なく、もつと危険のない自由のび〜遊べる憩の場、緑の園がほしいと思ひます。このほど立派な市民会館も出来上がり、駅前通りも大変広くなり、石岡市も一歩〜近代化されつつあります。この躍進しつつある当市に住み、市民の皆様の多幸をお祈りしながら初夢ならぬ日ごろ思つてゐることをのべ

てみました。

### 桜田弘

(石岡中三年)



ぼくは今まで、どういうわけか「初夢」というものにめぐり合ったことがなかったのです。しかし、今年はずがっていた。というのは、あと三ヶ月で義務教育に終わりをづけ、大人への第一歩を踏みしめるのです。人生の試練に立つにあたって、自分の郷土が産業、工業、観光都市として発展している石岡市の夢を見ました。それはこんなことでした。まず、交通の玄関口である駅前広場の拡張です。バスや電車を待つ人々のために、いこいの場所が作つてある。ふん水、芝生、樹木ベンチ等があり、戸外で自然の風景を満喫しながら、待つことができるようにしてあり、石岡でなくては味わえない自然の風景、夢のかけはしとしての駅前広場でした。また、そこを出発点として、筑波へ向かう道路も完備され石岡から筑波へのドライブコース

そして、恋瀬川の清流には釣り人が集まり、恋瀬川堤防で一日中ゆつくり遊ぶ親子連れの下流には霞ヶ浦、上流には筑波山を望み、なんとも言えない田園風景です。最近、子供(わたしたちもふくめて)の遊び場がだんだん少なくなり困つていたのでにスポーツ公園ができており、各種の競技ができるようになっていきます。そこでせいいっぱいの運動ができるようになっていきました。観光都市としての石岡には史跡園分寺の復現、常陸の国の文化、政治の歴史が建物の中に収めてあり、訪づれる人々がかゆくまで鑑賞できるとともに、石岡市の歩みが目でわかるようになってあります。そして帰りに、石岡市の特産物を観光みやげにして電車に乗り込む姿もありました。商業都市としても発展し近代化された店、豊富な品、親切な店員、とすべてそろった所で買い物をするお客の姿がみられる街でした。工業都市としては、大会社の建設、そこに働く人々は生々として仕事にはげんでいる。道路は太平洋の地平線のようにまっすぐで広く、鹿島港や都市へ直線できるようになっていました。

卒業を迎える新春の初夢、人生の第一歩、石岡の発展を

目の前に見たことは、なんとすばらしい年ではないか、このように希望のある年にしたいものです。

### 山中英夫

(大学生)



新年おめでとうございませう。年の始めに、心にうつりし、よしなしごとをつれづれなるままに、そこはかとなく書いてみようかと思ひます。毎年元旦には思つたのです。「まず、今年こそは……」とでも、世間が、ままならないのか、それとも、自分で努力しないのか。「こそは」が、決して、うまくゆきませぬ。「それが、世のならひ」なんてあきらめたり、とかくこの世は……なんて歌をうたつてみたり。でも、私は以外に、楽観論者、いや、それよりも無責任なかな。そのうちなんとかなるだろうで、過こしてしまいました。しかし、今年、昭和四十四年、大きく言えば、日本が世界に飛躍する年。すうと小さく言えば

私も、今年は大学生生活の四年目。なんとかなるだろう、では、心もとない。今までのように、ただ、漠然と、生きていたのでは、あまりにも、淋しいし、まして、成人式も終り、選挙権も与えられ、一般社会人に、仲間入りし、はや一年。社会人としての自覚もはっきりとは持たず、ただ学生の身分に、あまんじていた私としては、考えを新たにしなければならぬと、反省しています。しかし、年の始めに、反省ばかりしていてもしかたないので、今年の抱負なども少々。まず、二十一才の青春を満足させることの出来ることをやってみよう。現在、私が属している、土浦競台会なる、学生の親睦を図る会の会長として、全力投球をする。そして、もう一つ学業の方面。これは、今年こそはといてもいいでしょう。それを、がんばって、卒業証書だけで、何も、出来ない学生で、四年間を終わることのないよう努力したいと思えます。その他色々こまかい点、あると思いますが、年の始めに、とりあえず、この二つに、焦点をしばってみたいと思っております。

### 小松崎 裕

(農業)



輝かしい太陽と共に一九六九年を迎え皆様と共に新春をお喜び申し上げます。

大都市の建設途上にある石岡市の中で、私は今後の農業に大きな夢と希望をもち、農業に専従する同志と共にグループ活動に励んでおります。地区内には住宅団地や大小の工場が建設され、朝夕の通勤者の姿を見る時、農業という職業を考えざるを得ないのは私だけだろうか。しかしながら、農業は食生活の基幹である事に自信と誇りをもち、明日への農作業に精進することを同志と共に考えております。もし会社員の人が他の産業に出稼ぎに行くとしたらどうだろう。絶対に出来得ないことですが農家はどうか。自分の仕事を三チャンに頼み出稼ぎに行っております。これは、他産業との所得の格差が余りにも大きいため行かざるを得ないからです。

私はこのような状態が続くならは夢も希望もなくなってしまい、益々兼業農家が多くなりこれを打開し魅力ある農業にするには不可能になってしまいます。このような時にあたり、市が中心になり農業委員、農協、その他農業諸団体との会合を重ね農業の振興を図り牽引力となっていくならば、石岡の農業はもっと前進することと思えます。後継者問題にしても数年来農家の嫁さんがない、又後とり息子も外に出てしまった、こんな話は身近なところでもいやにならざるを得ない。このような問題については各機関は速かにその解決に努めるならば大きな前進であろう。私は同志と共に諸問題を話し合い、敬遠されがちな農業を希望に満ちた農業にしたいと思えます。

### 花立 倫往

(府中小六年)



昭和四十四年一月二日、午前六時十一分、突然SOSの信号が宇宙航空列車A5号より発信されてきた。場所は、

木星と水星の中間である。どうしたことが列車の進行不能ということである。ここ本社のある石岡電神山では、技師たち五十名ものものが集まってその原因解決のためにすべて技術と科学の力を集めていた。ロケットエンジンと計器、燃料にも異常のないことがわかった。いったいなにによる事故なのか。電気電波技術員の判断によって、自然電気の妨害であることがわかった。信号により急ぎ列車あて妨害電気はいじょうの方法を送った。しかし、それでも難をのがれることができず、人工衛星の形となって月の世界に着陸した。これは、救難車を送りドッキングしてやると本社電神山に、お客全員無事宇宙旅行から帰ることができた。社長のほくをはじめ五十名の技術員全員がだきあってその成功を喜んだ。——これは、ほくの初夢でした。今、世界では、月旅行実現のために競争をしている。特にソ連とアメリカは、どちらが先に月旅行ができるかとのぎをけすっている。父たちの話では、父が小学生の頃まんがに月ロケットのことがのり、また、火星には、火星人が住んでおり、たこの形をしているという想像画であったそうだ。科学の力は、たいしたものだ。何千キロ何万キロと離れたところまでも飛ぶことができるのだから。二十一世紀の時代には、ほくの夢にでてきたような宇宙列車が実現されるのではないか、そうした時、無数の星の中には、ほくたちの住んでいる地球よりもずっとすばらしい文化や科学の進んだ世界のある星に行くこともできるだろう。しかしそれには、ほくたちの勉強の力のもとなっていくのだと思う。

こう考えていると、ほくはなんだかフアイトがでてる。中学生になると、むすかしいことだらけのようだが、初夢の実現をゆめみて、友だちと共に考え、解決していきたいと思っている。

### 仲田 周教

(簡僑)



明けましておめでとうございませう。明治百年を基点として、さらに一年を加えました。一九六九年こそ本当におめでたいといいたい。百尺竿頭一步を進めるといふ言葉どおり、相互に本年は努力して文化の花を飾らねばならぬ年であると思う。

昭和元録といひ、レジャーを楽しむ日曜祭日の観光地の難路ぶり、海外旅行は日常茶飯事となり、自動車の洪水、夢の超特急、全国山々への観光道路の開発、テレビアンテナの林立は世界最高水準を行くという話であります。

また、月世界の旅行も夢ではないといふ、まことに「みたま吾いけるしるしありあめつちの栄える時にあいらく思えは」と或る歌人がうたったとおり、ただただ感謝につきる、本当によい世の中に生まれあわせたしあわせを喜ばねばなるまい、百年前の人が生まれ変わったらおそらく夢の国か、おとぎの国かとビククリギョウテンすることだろう。

まさに日本も西欧三ヶ国なみの福祉国家に近づきつつあることはまちがいないと思う。

ローマは一日にして成らずのことわざのとおり、この長足の進歩も百年がかりでレンガを積みむがごとく、一つ一つ積みあげたたまものであって、前人に感謝の誠をささげずにはいられないわけでありませう。

しかし、その反面、最近の犯罪が凶悪化し、年令層も下がり下がり行くという傾向がうかがわれる世相のように、各市町村においても青少年の問題が大きく取り扱われている現状であります。

古哲が言う「汝の国の青年を吾が前にみせよ、しからは汝の国の将来を洞察せんと」

さきにのべたようにまことに経済成長の面においては、世界最恵国かといわれるほど成長しましたが精神上のことがらが経済成長に追いつかずほど遠いようにかがわれる国の文化財が観光客によって荒されたり、らくがきされたりするのを見てがっかりさせられる。

現在、大学生の数は百五十万人、同一年令層五人中一人は大学卒となることとす。

教育もまた、まさに世界の最高水準ということが最近の新聞に報道されてきました。衣食足りて礼節を知る経済環境に恵まれた今日、その恵まれた立場に甘えることなく社会奉仕の心をもって国を愛し、郷土を愛し、家庭を愛する根性をすぢ金とし、相互ができる小さな親切から努力するというのが私共に課せられた事がらであると思う。

その時に初めて明るい社会

が出現しよう。本当の夢の国、おとぎの国にしたいものです。

### 石崎 敦子

(三村小六年)



明けましておめでとうございます。いよいよ本年は、宇宙旅行のまくあけの年です。大みそかのぼん、私は一人乗りの新型ロケットに乗って宇宙旅行に出発した。ちょっと計器を見たら、もう、地球から五光年もはなれていた。目の前には、まだ見たこともない大きな太陽がかがやき、いくつものまるいわく星が、青く黄色く光っている。私はその中の一番大きなわく星にロケットを向けた。それはアーム星だった。アーム人は、小さいしっぽがちよこんとついでいて、かみの毛が長く、指が二本しかない。私はソールという男の子と友だちになった。ことはちがうが、万能通訳器によって、心がかよひ合うので、心配ない。私はソールたちとアーム星の公園

などを歩いて歩いていた。その時、とつぜんしびれるようなしん動を覚えた。それによって、私たちは遠くへとばされたが、アーム人のソールとリックは星ざにくわしかった。「どうも速い所へふつとばされたもんだ。ぼくの推定ではまず、アーム星から十光年はなれていると思う。」とリックは言った。ローズはなきだし、私も心細くなった。その時、鳥がはばたくような音を聞いた。見るとあちこちから鳥のような生物が集まってきた、私たちをとり囲んだ。私は万能通訳器で「あやしい者ではない。助けてほしい。」と心からたのんだ。すると、「おまえたちは、うまいことを言って、この星をのっとうというのだろう。われわれはまだまされないぞ。」と、テレパシーの冷たい返事が返ってきた。鳥人たちがいってしまると、急に力がぬげ、私たちは深いねむりにおちていった。気がつくとうドームにかこまれた鳥人の国にいた。鳥人は、「心の善悪を知る測心器でおまえたちが、悪人でないことがわかったから助けてやろうだが、一つ条件がある。それは、地球人がこの星をこわげきしないということだ。」とテレパシーでも強く言った。私たちは、この鳥人の国の

平和をみだしたくなかったので、このことはだれにも話さないことにした。星の海のまただなかを一すじロケットがやってくる。私はこみあげなつかしきでいっぱいになった。そして、この星のことは、いつでも心に残しておこうと思った。

### 岡田 ひさ子

(銀行員)



「いらっしやいませ」「斉藤さん」「はい」「ありがとうございます」「お氣をつけてお帰りください」「広いカウンターのあちこちから明るい声が聞こえます。」

暖かい店内、スピーディな事務処理、お客様の顔が自然とほころびます。これは、石岡の中央に建つ総合五階新店舗の窓口風景です。屋上上がり大きく深呼吸をしました。すぐ下に見える石岡駅前には、広

く白い道路が縦横に走る。また近隣の家々はもちろんのことと石岡市全家庭がお得意先になり、石岡の発展と共に大きく伸びて行く金融機関。新しい年を迎え私はこんな夢を見ました。いつかはきっと夢ではなく実現する時がくることと思えます。昭和四十四年それは多くの夢を含む年です。高校を卒業して、早くも一年になろうとしている現在、やっと仕事にも慣れてきました。この一年、何にもわからない私を職場の人はみんなやさしく指導してくださいました。仕事に自信を失ない苦しい時もありました。でもそんな時は、自分で選んだ仕事じゃないか、好きで入った職場じゃないかといつも自分に言い聞かせてきました。

今では、むづかしいと思っただけの仕事もやりがいを感じられるようになり、お客様にお茶を入れることも楽しくなりました。四月には新店舗も完成し新しい人が入ってきます。いつまでも一年生ではないらねません。仕事をしっかり覚え新しい人を暖かく迎えてあげたい。石岡に生まれ、石岡に育った私、石岡で働き少しでもみなさんの役に立つように、また新しい建物に取れないようにしっかりと仕事をさせていただきます。山崎 雄二 (高校生)



### 山崎 雄二

(高校生)

ぼくは夢をみた。男だけが生きられる世界に行って「お前は男ではない。女は死刑にする。」と、仁王のような顔をした男に剣を持って追いかけてられている夢である。男の声が「お前は男ではない。」と何度くりかえされて、ぼくの脳裏をつき刺すのである。眼が覚めたとき、自分が悩みを持っていなかつたら「なんだ、夢か。」ですんでしまつたらう。

だが、自分には学校生活で勉強、生活両面に多くの問題があった。それがこの夢と深い関係があるような気がした。

男になるとはどういうこと  
 だろう……。考えれば考える  
 ほど考えがくしくしやにも  
 つれて、ほくの体の自由を奪  
 ってしまふ。

「クソ。そんなことおれ  
 が知るか。」

考えてはみても寝がえりば  
 かりうってしまふ。

そんな自分がくやくして情  
 けなくてたまらない。

悩む都度思うことだが、み  
 んなほくの様に悩んでいる  
 のだろうか。学校では、笑顔  
 の絶えない友人達だが……。

もうすぐ、二年も終りなの  
 に気ばかりあせてさっぱり  
 勉強が進まない。

ほちほち先生から就職の話  
 も聞かされたりする。

でも自分の希望も定まって  
 いない。

そんなこともあせりに拍車  
 をかける。たまらなく苦し  
 い。生きることの難しさが、

両手を広げて目の前に立ちふ  
 さがっている感じである。

これまで、ほくは根性でそ  
 の壁を打ち破りたかった。

でもそれができなかつた。

夜空に輝く星に、ほくは何  
 度「やるぞ」と誓ったこと  
 だろう。

しかし、葛藤のすえ、いつ  
 も眼前の欲望に決心が打ち破  
 られてしまったのである。

ほくは根性のある忍耐強い

人間になることが、男になる  
 ということだと一応考えた。  
 しかし、そんなことは知っ  
 ていても何にもならないこれ  
 までだった。

初夢は、そんなほくに立ち  
 なおるための契機を与えてく  
 れたのだと思う。

いつの日か、過去をふりか  
 えて苦しかった十七才の初  
 夢を楽しい思い出として語れ  
 る日をめざして、きょうから  
 生まれかわった気持ちで、新  
 しい一歩を踏み出したいと思  
 う。

鵜藤とみ子

(主婦)



昨年十月十五日、ラジオの  
 人生相談司会者が「良い結婚  
 はあるけれども楽しい結婚は  
 めったに無い」と、言いまし  
 た。

私は身体が弱いため、仕事  
 という仕事は何も出来ないの  
 で、何か人のためになること  
 をと思い立って仲人を始めて  
 みました。

もちろん、商売ではありません

せん。ですから、其所此所を  
 駆け回ってまともてあげるこ  
 とは出来ません。

電話、手紙等の連絡だけで  
 それでも約五年間に、三十一  
 組のカップルを社会に送り出  
 し、市内三軒の家からは、姉  
 妹くんと六組の新婚夫婦を誕  
 生させ、喜びに満ちあふれた  
 生活をしているのを見るにつ  
 け、聞くにつけ、そのうれし  
 さは、仲人を真剣にやってあ  
 げた人でなければ、それはわ  
 からないことと思います。

人は一生のうちに、仲人は  
 三回するものだという言い伝  
 えがあります。

本当にそのとおりで、仲人  
 ならでは、とうていわからな  
 い各家庭、各人、そして教育に

宗教に、そこに、最も重大な  
 影響を及ぼす封建性と現代青  
 年の新思想の問題等を加えて  
 生活環境は区々まちまちであ  
 り、それを、あの家とこの家  
 この男性(カタ)とあの女性  
 (ヒト)と、第三者からみて多  
 分合意点が認められる人では  
 ないかと話しを進めてゆく。

十三回目のお見合いで、や  
 っとゴールインした夫婦もあ  
 る。

男性は七回目のお見合いで  
 この女性ならせびという、し  
 かし、女性方の親達は、何か  
 煮え切らず逃げ腰である。

このため、ハイヤーで九回

も通い、とうとう親を説得し  
 て結ばせてあげることができ  
 ました。今は男の子もあり幸  
 福に生活しております。

また、ただの一回のお見合  
 いで双方同意しあい、幸福に  
 なっていられる夫婦も四組あ  
 ります。NHK連続テレビド  
 ムマ「あしたこそ」で、せつ  
 子がお見合いに先立って「自  
 分の顔に相談してせいたくは  
 言いません」という言葉、そ  
 れも何か参考にしてみる必要  
 があるのではないかと思います。

あの男性と想っても、も  
 らってこれなければ嫁(こ)け  
 ません。あの女性をほしいと  
 思っても来てこれなければ結  
 ばれません。これが結婚願の  
 第一歩ではないでしょうか。

結婚してからは二人の努力で  
 す。こんな名言もあります。

妻はよき夫をつくる天才でな  
 ければならぬと、また、某女性  
 作家はこれからの結婚は、体  
 力や美力ではない気力である  
 と、結局結婚は調査に始ま  
 り、心の納得に終ると言う人  
 生相談司会者の言葉につきる  
 と言うことになりました。

ここに、新しい年を迎え、  
 今までの種々な諸経験を生か  
 して、本年こそ本当に、楽し  
 い結婚のカップルを社会に送  
 り出す希望に満ちた夢は……  
 はてしなく続く。……喜びに  
 あふれて……。

原田保

(農業)



あけましておめでとうござ  
 います。

私は、今までに、石岡市連  
 合青年会の会員として、数多  
 くの行事などに参加してまい  
 りました。

その青年会を通じて、自分  
 なりに、そして、市民の皆さ  
 んのあらたな関心を寄せてい  
 ただくためにも、わが青年会  
 を紹介したいと思ひます。

名称は、関川青年クラブと  
 四十五名で組織しております。  
 会員は男二十五名、女二十  
 名で十八才から二十一才まで  
 です。

会員の職業はほとんどが農  
 業です。

行事の主なものには次のよう  
 なものです。四月ハイキング  
 五月機関紙発行、六月交流会  
 七月会誕生記念、八月努力奉  
 仕、十月県内視察研修、十一  
 月村内文化祭、十二月研究発  
 表会、一月農協との話し合

い、二月婦人会との話し合  
 い、三月総会、その他定例会  
 は毎月第二日曜日と第三土曜  
 日の午後八時〜十時に行なっ  
 ています。

私たち青年は、現在まで、  
 市の行事、県の行事などに、  
 数少ないが参加しました。

なかでも、記憶に残ること  
 は、県が主催した、青年議會  
 の議員に選ばれ、本會議に参  
 加したことでした。

その議會は、青年たちに、  
 本県の実態、地方自治につい  
 ての関心や、正しい認識をも  
 たせ、青年の抱負や希望をも  
 べ、青年自身の向上と青年団  
 体活動を推進するもので、未  
 熟ながら県の概要がわかり、  
 たいへん勉強になりました。

これも、青年の存在を認め  
 てくれたということであらう  
 がりますが、これは、ほんの  
 一部であり、本当に、市民の  
 なかにとけこむことが出来ず  
 理解してくれない人たちが多  
 いのは残念でなりません。

県、市のように、団体が大き  
 きく、組織化していることは  
 認めてもらえたとしても、町  
 村のような小さな団体では風  
 習がぬけないように、なかな  
 か認めてくれません。

もう少し、われわれ青年の  
 存在を認め、その行動を暖か  
 く見守り、ご指導願いたく思  
 います。

前にのべた青年議会の開催だが、わが石岡市でも、青年議會を開催し、市議會、市政の内容などを多くの市民にいきわたるよう接融をもち、石岡市の発展のためにつくすならよりよい市政、よりよい石岡市がおのずから開け、十七万都市も夢ではないでしょう。

### 稲葉 清実

(府中中三年)



毎年新しい年を迎えるとききま「新年の抱負」を書いた。いや、かかされた。のほろが真実に近いだろうか。まったく消極的な態度で、きれいに項目を並べるに過ぎなかった。お正月には、一種の異様な感傷的気分とでも言おうか、いやにまじめな心で目標とやらをいかにらしく立ててきた。

小学生のころからだろうか。今までに、満足して目標を守れたと感じた時は、自慢ではないが一度も記憶にない。そして、くれも押し迫ったこ

ろ、ただ自己嫌悪に陥るだけであつた。もちろん私の努力の足りなさだろう。

でも、私は元旦だからといって、抱負とやらを無理に造り上げて書き立てることはないと思う。もっとも、本当に一年をまじめに見つめ素直しい目的のある人はりっぱだと思ふ。

月日の流れによって必ずややってくる年の初めに、人々は感動し、心を清くし、自分を見つめ、無限の将来にまつすぐ目を向けて進歩しようとする心は美しくもあり大切でもあると思う。

しかし、それがはたしてだれもがする新年の抱負に表わせるものだろうか。自分の考えを文字に表わすことによつて確信を得られる人はよいと思ふ。でも、私はもっと大切なことはそれを心に書くことだと思ふ。

一年の間、一日もそれを忘れずに生活し、成長しつづけることではないだろうか。そんな意味で「心の抱負」は大切なことだと思ふ。また、それはだれもが持つべき、そして持たなければならぬことだと思ふ。

☆

## 一般会計補正予算など十八議案を審議

### 4 回例会 第定市議

昭和四十三年石岡市議會第四回定例会が十二月二十四日から三日間にわたり開かれました。この議会には、一般会計補正予算など議案十八件、請願四件が上程され全議案が原案どおり可決され、請願四件を採択されました。

#### 五千八百八十二万三千円の補正予算(一般会計)

主なものは次のとおりです。

- ◆ 湖北水道企業団貸付金として 二千五百万円
- ◆ 農業構造改善事業費として 一千四百三十三万五千円
- ◆ 道路新設改良費として 三百五十九万一千円
- ◆ 老田橋補修工事費として 七十万円
- ◆ 陣屋門改築移転工事および現在地石敷詰工事として 四百万円

#### 審議された議案

- ・職員団体の業務に専ら従事する職員に関する条例を廃止する条例の制定
- ・職務に専念する義務の特例に関する条例の一部を改正する条例の制定
- ・市職員の休日および休暇に関する条例の一部を改正する条例の制定
- ・市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定
- ・市職員の特別会計、農業共済事業特別会計の歳入歳出決算認定
- ・市営住宅管理条例の一部を改正する条例の制定
- ・公平委員会の共同設置
- ・湖北環境衛生組合規約の一部を改正することに関する関係地方公共団体の協議
- ・昭和四十三年度市一般会計補正予算
- ・昭和四十二年度市一般会計、有線放送電話事業特別会計、授産所特別会計、国民健康保険特別会計、と畜場

#### 教育委員などきまる

こんどの議会で、教育委員監査委員、固定資産評価審議会委員がきまりました。教育委員には、福田四郎氏(三村)の任期満了にともない、服部農夫雄氏(石川)農業委員が選ばれ、監査委員には、関辰三郎氏(泉町)医師が再任されました。

また、固定資産評価審議会委員六名のうち四名が任期切れとなったため、宮内己之松氏(仲町)、笹目伝兵衛氏(高浜)、山口三穂氏(三村)の三名が再任され、池田敏男氏(元真地)が新しく選任されました。

#### 議長に大山安一氏

市議會第四回臨時時が去る十二月九日に開かれました。この議会で、議長修木幸三氏が一身上の都合により、十二月九日をもって議長を辞任いたしましたので、ただちに選挙が行なわれ、大山安一氏が当選、新議長に就任いたしました。

また、湖北環境衛生組合議会議員の選挙も行われ、次の四氏が当選いたしました。大山安一氏、前野真一氏、川島操氏、豊島喜世金氏



# 第一保育所が

# 完成



(写真は完成した第一保育所)

市では、児童福祉施設の充実をはかるため、市立第一保育所の新築移転工事を八月に着工して以来、急ピッチで進めておりましたが、このほど石岡小学校プール脇に完成いたしました。

この保育所（国民年金特別融資施設）は、鉄骨ブロック平家建て保育室、遊戯室、ほふく室、調理室など近代的な諸設備をそなえた立派なもので建坪は三四九・四五八平方メートル、総工費八百二十五万円となっております。

## 成人の日と国民年金

一月十五日は、成人の日です。この日は「おとなになったことを自覚し、みずから生きぬこうとする青年を祝いあげます日」として全国各地で二十歳になった人びとを祝う成人式が催されま

す。二十歳になると成人としての権利が与えられ、義務が課せられます。また、二十歳になることは国民年金にとっても非常に意義のあることです。すなわち、日本国民は二十歳にな

### 国民年金制度とは

と厚生年金保険や共済組合などの公的年金制度に加入している人を除けば必ず国民年金に加入しなければなりません。私たちが年をとったり、けがをしたり、一家の働き手が死亡したりしたときに、老令年金、障害年金、あるいは母子年金を支給して本人やその家族の生活を保障する制度です。

年をとったり、けがをしたときに備えて、保険料を積み立てておき、国も保険料の半額を負担して将来の年金給付にあてています。若い人には、年金というものが遠い将来のことのように考えられがちですが、今は元

気で働いていても、やがては年をとって働けなくなる時がやってきます。それに生活環境が改善され、医療技術が進歩するにしたがって平均余命が伸び、老人の生活が問題になってきているので、今から老後の生活というものを考え準備しておくなくてはなりません。また、最近交通事故による障害が多くなっていますが、このようなときにも安定した生活ができるようにするため、年金が必要であり、年金がまだ加入していない人は、すぐに市役所厚生部の窓口で加入の手続きをしてください。加入手続きは簡単で、印鑑を持参するだけで結構です。

### 優良統計調査員を表彰

統計協議会総会と統計大会が十二月十三日、市民会館において開かれ、役員改選などが行なわれたあと、次の方々が市長ならびに県統計協議会総裁などから農業統計優良調査員として表彰されました。

- 県統計協議会総裁表彰
  - 福田安義氏（貝地）
  - 菊地業定氏（中津川）
  - 高橋光政氏（三村）
  - 小松崎亨氏（井関）
- 市長表彰
  - 磯部勇氏（田島）
  - 立川健一氏（東大橋）
  - 細井路雄氏（小井戸）
  - 長谷川英氏（小井戸）
  - 本田芳市氏（三村）
  - 小松崎武男氏（井関）

## 図書館だより

◆土曜日（午後）、日曜日も開館いたします。

高校、大学受験者の便宜をはかるために、次のように土曜日（午後）、日曜日も開館いたします。

開館時間 平日 八時三十分～五時

土曜 八時三十分～四時

日曜 九時～四時

休館日 各月第一日曜日

期 間 一月～二月

一般の方々もこの期間を大

いに利用していただきたいと思ひます。

### 図書の新書

◆忍法新陰流 他五冊

原憲寿氏（若松町）

◆日本語の起源 他十冊

塚田康氏（守横町）

市統計協議会会長表彰

- 長谷川英次郎氏（桑谷）
- 箕輪五郎氏（若松）
- 倉橋国太郎氏（金丸）

史跡めぐりは今月休ませていただきます。

毎月

第3日曜日は家庭の日です

親と子の話し合いをいたしましょう

住民検診 (結核健康診断)

- 1. 最寄りの場所で受けて下さい。
2. 仕事着のまま受けられます。受診料は無料です。
3. レントゲン撮影と血圧測定を行います。

Table with columns: 月日, 曜日, 時間, 実施場所, 実施地域. Lists dates from 1/28 to 2/8 and corresponding locations and regions.

続電々シリーズ

電話の正しい使い方④

天気予報をお知りになりたいたいときは、正しい時間をお知りになりたいときは、

旅行や調査などで、天気を... 外局番一七七番をダイヤルすれば、全国どこの県の天気予報でもきくことができます。

ただし料金はかかります。(ただし料金はかかります。)

人事明暗

Table of birth and death statistics for November. Columns include birth (出生) and death (死亡) counts and names across various districts.

人口と世帯 (1月1日現在)
世帯数 9,007 世帯
人口 男 18,442 人
女 19,803 人
計 38,245 人

償却資産の申告は 1月31日限りです
30万円以上の事業用償却資産をお持ちの方は必ず申告しなければなりません。(財務部)

今月の納税
6期 国民健康保険税
4期 市県民税
4期 国民年金
納期は1月31日限りです。